

ヒト脳研究の方法論

ATR脳情報解析研究所 計算脳イメージング研究室 室長
理研革新知能統合研究センター チームリーダー
CINET 客員研究員
大阪大学院 生命機能研究科 客員準教授

山下 宙人

ヒト脳機能イメージングの研究動向を**方法論の観点**から分けたテーマごとに概説。

実験方法 × 計測方法 × 解析方法

- 皆さんが神経科学の勉強する際のポイントとして少しでも役に立つように。
- 『物事の理解の仕方は“方法論”に依存する』
できるかぎり多面的に物事を検討することが重要

成績評価

- 得点配分 : 出席(50点) + レポート(50点)
- レポート課題: 以下の課題から1つ選びA4用紙1枚にまとめて提出してください。

問題1: 講義の内容で興味持ったことについて調べて、レポートしてください。

問題2: なぜ統計的仮説検定では、第1種の過誤(擬陽性)のコントロールが重視されるのか議論してください。

- レポート評価基準: 着眼点の独自性と論理性の高さの2つの項目を見て成績をつけます。
- 締め切り: 2週間後 2月7日(金曜日)
- 提出方法 : 電子ファイル を提出。 PDFフォーマット
- 場所: 生命機能研究科 教務課 下野宛 seimei-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp